

# 過去10年間（2016～2025年）の腸管出血性大腸菌感染症 血清型別発生状況（石川県）

- 【目的】 腸管出血性大腸菌感染症は、3類感染症の全数把握感染症です。  
広域的な感染症・食中毒の調査について、事案の早期探知、関係部門間の連携及び情報の共有等を目的として菌株を収集し、検査を実施しています。
- 【対象】 過去10年（2016年～2025年）は463件の発生がありました。
- 【結果】 過去10年に石川県で届出のあった腸管出血性大腸菌感染症の発生状況を月別および血清型別に図に示しています。  
内訳は、O157：182株、O26：96株、O111：12株、その他：175株でした。（2024年、2025年は、各1名から異なる2株が検出）

